基

事務事業名

基本政策

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

□ 実施計画事業

南アルプス市奨学金貸与事業

個性と文化を育む都市づくり

作成日 H

教育委員会

教育総務課

教育政策推進担当

会計

01

____ 名称

所属部局

所属課室

所属担当

予算科目

日作成

2010- 12517

秋山 まさ美

細目 細々目

塚原 浩二

単位番号

課長名

担当者名

款項目

一般 10 01 02 070 04

	至个以来	本			7 4bili 5 ()), 31 .		01	一般 1	10 01	02	070	04
	政 策		23	学校教育の充実			± *			の制度による義 の制度による義				
	施策	体系	36	「生きる力」を育む	『学校教育の推議	隹	事業	区分	_	の制度による義 務化されている				Ę
:	事業期間		年度の <i>#</i> 間限定複		☑(開始年度 ~	年度) 年度)	法令	根拠	• 南	アルプス市奨学	学金条例			
		期間限	定複数年	F度事業は次年度以		内容も記載	事業費	の主な	內訳	(26年度	決算見込	<u>(</u>)		7 ~ m\
車	金制度。			教し、その基金13,		受け創設する契	項 貸付金	日 <mark>(神</mark> 良 E	ן חַ	金額(千円) 9,840	- 垻日	(細節)	金額	(千円)
業 の	額:25, 000円(業の一年経過	大学生 发10年	:等) 10 以内に返	0, 000円(高校生)の 区還	の貸与									
概要												±7		0.040
_	 現状把握(D	\ <u>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</u>								1	<u> </u>	計		9,840
(1) }	事務事業の目的		票											
① ;		新規場	2000年	集、審査。奨学金貨	資与事務及び返還	金事務。		⑤ 活動	助指標	<mark>(事務事業の活</mark> 名称	動量を表す	す指標)	数字は記え 単位	
	丰度活動内容						⇒	ア 応 イ 貸 ウ 返	募者数 5.考悉	ζ			人	
	丰度活動予定 1 2 (三の事務)	= **	=# / #			· 次		ウ返	見 量者数	(人 人	
(Z) X	家(この事務	手耒は	誰、叩る	対象にしているの	<u>()か) * 人や日常</u>	資源寺				<mark>(対象の大きさ</mark> 名称		() 	は記入しな 単位	<u>'</u>
市内	在住の学生・生徒	ŧ					⇒	ア市ロイ	勺在住	の学生・生徒	数		人	
(2) 2	5回/二の声改声	** 1- ト	11分母女	じのトンか件能に	てい/のか じの	トンに亦ってのか)		ウ つ # E	日七畑	/もあーいはて辛	図の法仕中	<i>t</i> = + +	(1番) 粉点(1+3	771 +>1
				どのような状態にし		いた。変えるのか)				(対象における意 名称			単位	E人しない
・市区	大学生及び高村	交生等の	の保護者	の経済的負担の軽	減		⇒	ア ^{負担} イ	∃が軽測	咸されたと答えた	保護者の智	割合	%	
(A)	・位日的(どの)	上うた糸	き里 / こ紅	び付けるのか)				ウ <u>® F</u> f	九成里	指標(結果の)	幸成度を表	オ指揮) 数字件記	71 /:17
		••••		0,1317,902,777						名称	主风反こ女	9 1日1示	単位	
仕会	に貢献し得る人材	牙の育用	戉				⇒	ア 笑 [。] イ	子生の	満足度			%	
(2) 3	事業費・指標の	堆稅	単位	24年度	25年度	26年度		年度		28年度	29年	度	最終	年度
. 1	国庫支	出金	千円	(決算・実績)	(決算·実績)	(決算見込·実績)	(予算	草•目標)		(計画・目標)	(計画・	目標)	(トータルコ	<mark>スト・</mark> 目標)
年間	財	金	千円 千円								.			
						L				4.050				
卜	* 内 ···································	他	千円	3,202	3,361	3,361		4,0	00	4,050		4,050		
卜	* 内 ボカ その 訳 一般! 事業費計	他 才源 (A)	千円 千円 千円	3,202 7,178 10,380	3,361 6,839 10,200	3,361 6,479 9,840		4,05 6,05 10,08	30	6,030 10,080		4,050 6,030 10,080		0
トータルココ	だ 内	他 <u>け源</u> (A) 事人数	千円 千円		6,839			6,0; 10,08	30	6,030				0
トータルコ	だ 内	他 才源 (A) 事人数 時間	千円 千円 千円 人 時間 千円	10,380 1 400 1,820	6,839 10,200 1 410 1,866	9,840 1 410 1,866		6,03 10,08 42 1,93	30 30 1 20	6,030 10,080 1 420 1,911		0,080		0
トータルココ	集内	他 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 人 時間 千円 千円	10,380 	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 30 1 20 11 91	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0		10,080		0
トータルココ	だ 内	他 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 十円 千円 千円 千円 人 人 人	10,380 1 400 1,820 12,200	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066	9,840 1 410 1,866 11,706		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 30 1 20	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991		0,080		0
トータルココ	大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	他 (A) 事人数 (B) アイヴァ	千円 千円 千円 6 千円 千円 千円 人 人 人 人	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 1 20 11 91 0.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0		0,080		0
トータルココ	集内	他 (A) 事時間 (B) アイヴァイウ	千円 千円 千円 ・時間 ・千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 1 20 11 91 0.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0		0,080		0
トータルココ	大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	他 (A) 事時間 (B) アイヴァイヴァ	千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 1 20 11 91 0.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0		0,080		0
トータルコスト	Page	他 (A) 事時間 (B) アイヴァイウ	千円 千円 大 時間 千円 イ 人 人 人 人 人 人 人 く く く く く く く く く く く く	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0		6,03 10,08 42 1,93 11,99	30 80 1 1 220 11 91 0.0 7.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0		0,080		0
トータルコスト	Page	他 (A) 事時(B) アイヴァイウアイ	千円 千円 大間 千円 千円 イ 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 100.0	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.00 37.0 25.0	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0		6,0; 10,08 4; 1,9; 11,99 33; 3; 3;	30 80 1 1 220 11 91 0.0 7.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0		0,080		0
トータルコスト	内	他 () () () () () () () () () (千円 千円 十一 十一 十一 十一 十一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 (等)の変化、市長 経済危機から雇用	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0	9平成2	6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 3: 3: 3: 100	30 80 1 20 11 91 5.0 7.0 5.0	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0		010,080		0 0
トータルコスト	大 (内) (一一で記)	他 (水) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円 千円 大門 千円 千円 十一八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 幸で開始されたの	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 (等)の変化、市E 経済危機から雇用 められていた。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0		6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 33' 33' 31' 100 2年度才	30 30 1 1 20 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0	型学会の解	10,080 0 10,080 散に伴		0 0
トータルコスト (3) ① ② (3) ① ② (3) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ② (4) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ③ (5) ④ (5) ⑤ (5) ⑥	大 内 記 中 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	他が(事時(B) アイヴァイヴァイヴァイ 巻ほ 況か	千円円 千千円円 十千円円 イ 人人 人 人 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 特または5年前と 今後の予測は?	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 100.0 上海の変化、市長経済危機から雇用められていた。 雇用環境の悪化に	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 100.0 ほ意見等		6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 33' 33' 31' 100 2年度才	30 30 1 1 20 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0	型学会の解	10,080 0 10,080 散に伴		0 0
トータルコスト (3) ① ② ②	大 内 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	他 / (事時 (B)	千千円円 千千円円 千千一人 八人人 次 が が が が が が が が が が が が が	10,380 1 400 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 幸で開始されたの 詩または5年前と 今後の予測は?	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 (等)の変化、市E 経済危機から雇用 められていた。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 100.0 ほ意見等		6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 33' 33' 31' 100 2年度才	30 30 1 1 20 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0	型学会の解	10,080 0 10,080 散に伴		0 0
トータルコスト (3) ① ② よい (4) で	大 内	他 / (事時 ()	千円円円 一千円円 十千円円 十千円八人人 ・	10,380 1,820 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 17.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 時または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 100.0 上海の変化、市長経済危機から雇用められていた。 雇用環境の悪化に特になし。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 30.0 100.0 R意見等 状況の悪化等によ	増える傾	6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 33 33 36 100 2年度 ^次	30 30 1 1 20 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	6,030 10,080 1,080 420 1,911 11,991 30.0 40.0 100.0 40.0	受学会の解 する学生も	10,080 0 10,080 散に伴 ある。		0 0
トータルコスト (3) 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	集費	(大) (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	千円円円 大間 千千八人人人	10,380 1,820 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 100.0 上海の変化、市長経済危機から雇用められていた。 雇用環境の悪化に特になし。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 30.0 100.0 未記 見等 状況の悪化等によ	増える傾	6,0: 10,08 4: 1,9: 11,9: 33 33 36 100 2年度 ^次	30 30 1 1 20 11 11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	6,030 10,080 1 420 1,911 11,991 30.0 37.0 40.0	受学会の解 する学生も	10,080 0 10,080 散に伴 ある。		0 0
トータルコスト (3) ① ② ③ (4) 〕 ② ② (4) 〕 ② (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大内に	他 が (事 時 ()	千円円円 大間 千千円 人人 人	10,380 1,820 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 特または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 25.0 100.0 等)の変化、市 屋 経済危機から雇用 められていた。 雇用環境の悪化に 特になし。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 30.0 100.0 未記 見等 状況の悪化等によ	曽える傾	6,0: 10,08 42 1,99 31 33 33 34 100 2年度 ^次	30 30 1 1 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	6,030 10,080 1,080 420 1,911 11,991 30.0 40.0 40.0 100.0 か。南アルプスシ	奨学会の解する学生も	10,080 0 10,080 散に伴 ある。	い制度の充	0 0 0
トータルコスト (3) ① ② ③ (4) 〕 ② ② (4) 〕 ② (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大の記	他 が (事 時 ()	千円円円 大間 千千円 人人 人	10,380 1,820 1,820 12,200 30.0 37.0 17.0 17.0 100.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 特または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	6,839 10,200 1 410 1,866 12,066 30.0 37.0 25.0 100.0 等)の変化、市員経済危機から雇用められていた。 雇用環境の悪化に特になし。	9,840 1 410 1,866 11,706 30.0 37.0 30.0 100.0 R意見等 I状況の悪化等によ	曽える傾	6,0: 10,08 42 1,99 31 33 33 34 100 2年度 ^次	30 30 1 1 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	6,030 10,080 1,080 420 1,911 11,991 30.0 40.0 40.0 100.0 か。南アルプスシ	奨学会の解する学生も	10,080 0 10,080 散に伴 ある。	い制度の充	0 0 0

			ha - 0 tuli	5 W. A. 415 L	~===	W A	~==	let -let () -te-re		
	事務事業名	<u> </u>	有アルプス市 ^歩	受学金貸与事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課		
2	評価(Check1)担意 ①政策体系との整合性					⇒ 3証価(Chack	2)・4会後の方	カ性に反映		
的	この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか?		□ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由↓】 平成22年度からの事業であり、条例に基づいて事業が行われている。							
	② 公共関与の妥当性この事務事業を税金を投わなければならないのか	入して市が行	 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ✓ 妥当である ⇒【理由↓】 平成22年度からの事業であり、条例に基づいて事業が行われている。 							
性評	は可能か?		事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 区間・NPO 市民協働							
価	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、こ の事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?									
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする 業の目的に向けて現状。 上させることはできるかっ は何が原因でできないの	いも成果を向ってきない場合	□ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 向上余地がない ⇒【理由↓】 将来的には基金の積み立ては償還金のみとし、一般会計からの繰り入れを無くしてこの事業の運営を図りたい。ただし直ちに事業向上成果が出るわけでは無いので「今後の方向性」には現時点では反映するものでは無い。							
有	⑤ 類似事業との統廃合	・連携の可能性	☑ 類似事務署	事業がある ⇒(類似す	る事務事業の名称を	記入↓)				
効性評価	るか?類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることは		✓ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映□ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】							
.–	⑥ 休止・廃止した時の	影響及び休	▼ 類似事務事 ■ 影響なし	事業がない			·る			
	止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃 響はあるか?また成果か 止・廃止することはできる	止した場合影 いら考えて、休		⇒【理由と影響の内 還が行われているため。	容↓】	✓ 休止・廃止できな 現に貸付を行っている	い ⇒【理由↓】	から廃止はできない。		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(できないか?(仕様やエ) 住民の協力など)	コスト)を削減	□ 削減余地 ☑ 削減余地 ☑ 削減余地 当面は十分な		1	3評価(Check2)・ の補填が必要である。	4今後の方向性	上に反映		
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削か?(事業のやり方の見 時間の削減や臨時職員) 託による削減はできるか	減できない 直しによる業務 対応や外部委 ?)	□ 削減余地 ☑ 削減余地 償還事務が年			3評価(Check2)・	4今後の方向性	上に反映		
平性評	⑨ 受益機会・受益者負担地事務事業の内容が一部のでいないか?受益者負担はないか?公平公正かった	の受益者に偏っ 旦を見直す必要	☑ 公平·公司		l]	3評価(Check2)・ で公平公正。	4今後の方向性	比に反映		
	評価(Check2)担意 1次評価者としての評		こよる評価結	果と総括	(車致車要去中提工	結果を振り返り気づい	たこと 細野 みゃ	4の士白州等についる		
•••••	① 目的妥当性 ☑ 適		余地あり	奨学生の選考基準の	規程を設けた。これに、	よりより効率的な事業運	とこ、味趣、ブロ 営が図られる。な	x v/ / J 回 正寺 に		
	② 有効性 □ 適	i切 ☑ 見直し	余地あり	策を継続的に行い、将	f来の貸与の原貸の確	保に努める。				
	③ 効率性 ☑ 遃	i切 □見直し	余地あり							
	④ 公平性 ☑ 遃	i切 □見直し	余地あり							
	今後の方向性(事務			14 7 \ Levu \sa !	_	1/	\	· 7 + 台址		
	<mark>)今後の事務事業のた</mark> 廃止(目的妥当性①、②			<u>: める)・・・複数選択</u> :合・連携(有効性⑤の:			改革・改善に。	50万回性 カスティー		
	休止(目的妥当性①、② 必要性検討(目的妥当性	、③の結果)	☑ 成果向	上(有効性④の結果)	□ 現状維持(全		****** 削洞	コスト水準 【 維持 増加		
(2)改革改善案について						向上維 口			
1.5	╕ЬせっЬ ≚ᄼ ᆣᅲ╸ ╵ ╸		Ł≅⊞ B⊼ I → ○ ^	72 th 19th			準 低 下 □ ※ 廃止·休」	Lの場合は記入不要		
(4)	<mark>改革改善を実現する</mark> _	こで 解次すべる	: 課理とその角	# /			•••••••	評価結果 平成26年		
						成	果優先度評価	結果		

コスト削減優先度評価結果

6